

600字物語006

ラブラブ

ハッピー03

作者：エリー

だってどうしてもこのジャンパースカートにはショートブーツがあわせたかったんだもん。あなたに見せたかったんだもん。

歩くと痛いだけだよ。爪が靴にあてっているの。脱いだら平気。爪に当たると痛いけど。

あなたに言われて、見てびっくり。両足の中指の爪が変色しているんだもん。

自分の体よりおしゃれを選ぶのはバカだってわかっている。でもトータルコーディネートって大切よ。デートならなおさらね。

かわいいと言われたい乙女心を分かってよ。

どうしても靴屋に行かなくちゃダメ？

買い替えなければ今すぐデートを中止しておんぶして家に帰る！？ やっと予約がとれて、素敵ホテルに来たばかりなのに？

ううん、靴は悪くない。わたしの歩き方が悪いの。ベタベタ歩くから。かかとをあげてつま先だけで歩いたら痛くないのよ。でも気を抜くとベタベタ歩きに戻っちゃうの。ダメね。きっとそれでヒールがはけないのね。

そう、靴屋で処分してもらえるの。え、処分！？ 持ち帰れないし、二度とはかないように？

うん、分かった。分かったよう。そうするしかないって分かっている。靴屋に行く。

この服に運動靴はおかしくない？ 若く見える？ そうかなあ。痛くはないけど・・・なんて歩きやすいの！ 体もすごく楽だわ。

ごめん、無理していた。もっと自分を大切にすること。こんなに大事に思われているだもの。

うん、幸せだよ。